

国土交通省主催『市町村・地域管理構想 講習会』
2024年10月21日(月) 14:00-16:00、オンライン

管理構想への期待

広田 純一

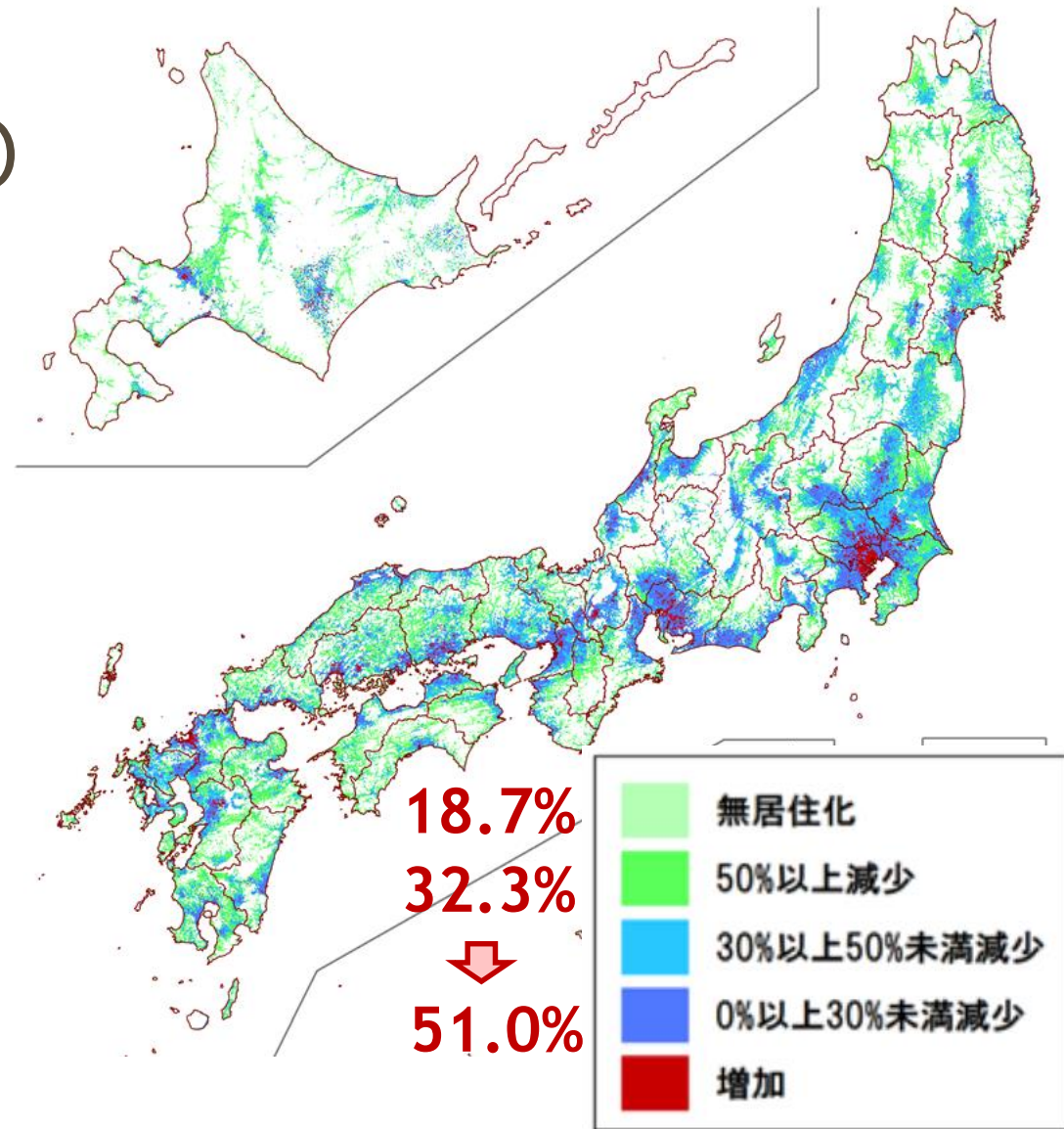
岩手大学名誉教授
NPO法人いわて地域づくり支援センター・代表理事

伝えたいこと

- 管理構想の策定は、人口減少対策の一つ
 - 移住定住対策や少子化対策を講じるのと平行して、地域・市町村の管理構想を策定すべき。
 - いま対策を講じなければ、地域の人々が暮らしと生業の中で、日常的に管理してきた土地・環境が損なわれ、地域や自治体そのものの衰退につながりかねない。
- なし崩しの衰退から、戦略的保全へ
 - 一番まずいのは、人口減少と少子高齢化の趨勢にまかせ、必要な対策を採らずに、地域がなし崩しの衰退していくこと。
 - 守るべきところは守り、引くべきところは引くという戦略的対応が必要。地域の衰退を避けながら、長期的に地域を維持・活性化する。

1km²メッシュ の有人エリアの 人口予測 (2015~2050年)

2015年から2050年に
かけて全国で無住化
が進展。増加は三大
都市圏の一部と沖縄
県のみ。



何をすべきか？

- 全国各地の人口減少は、このまま行くと今後さらにペースを上げて進捗。地域ベースに見ると、人口減少率が50%以上、さらには無住化が進む恐れ。

- やるべきことは主に2つ

1. 人口維持対策

- 人口について当面の目標は**出生数の維持**。できるだけ早期に人口の下げ止まりを実現すること。そのためには出産可能世代（20～40代前半）の確保が極めて重要であり、**移住定住（U・Iターン）対策**は地域振興の柱であるべき。

2. 地域存続対策

- 一方で、人口が減少しても暮らしていける地域を作ること（**人口減少対応社会の構築**）が喫緊の課題。すなわち、

① 暮らしの維持

② 仕事の確保

③ 地域コミュニティの活性化

④ 土地・インフラの保全管理



①～③の基礎

近未来の3つのシナリオ

①なし崩しの衰退

- 人口減少と少子高齢化の趨勢にまかせ，地域の将来像から逆算した対策はとくに採らず。
 - 暗黙のうちに現状維持を目標。
- 結果として，なし崩しの様に地域が衰退。
- 多くの地域はこのパターン?!
 - ただし、最近は地方創生・地域振興の取組活発化

②持続的発展

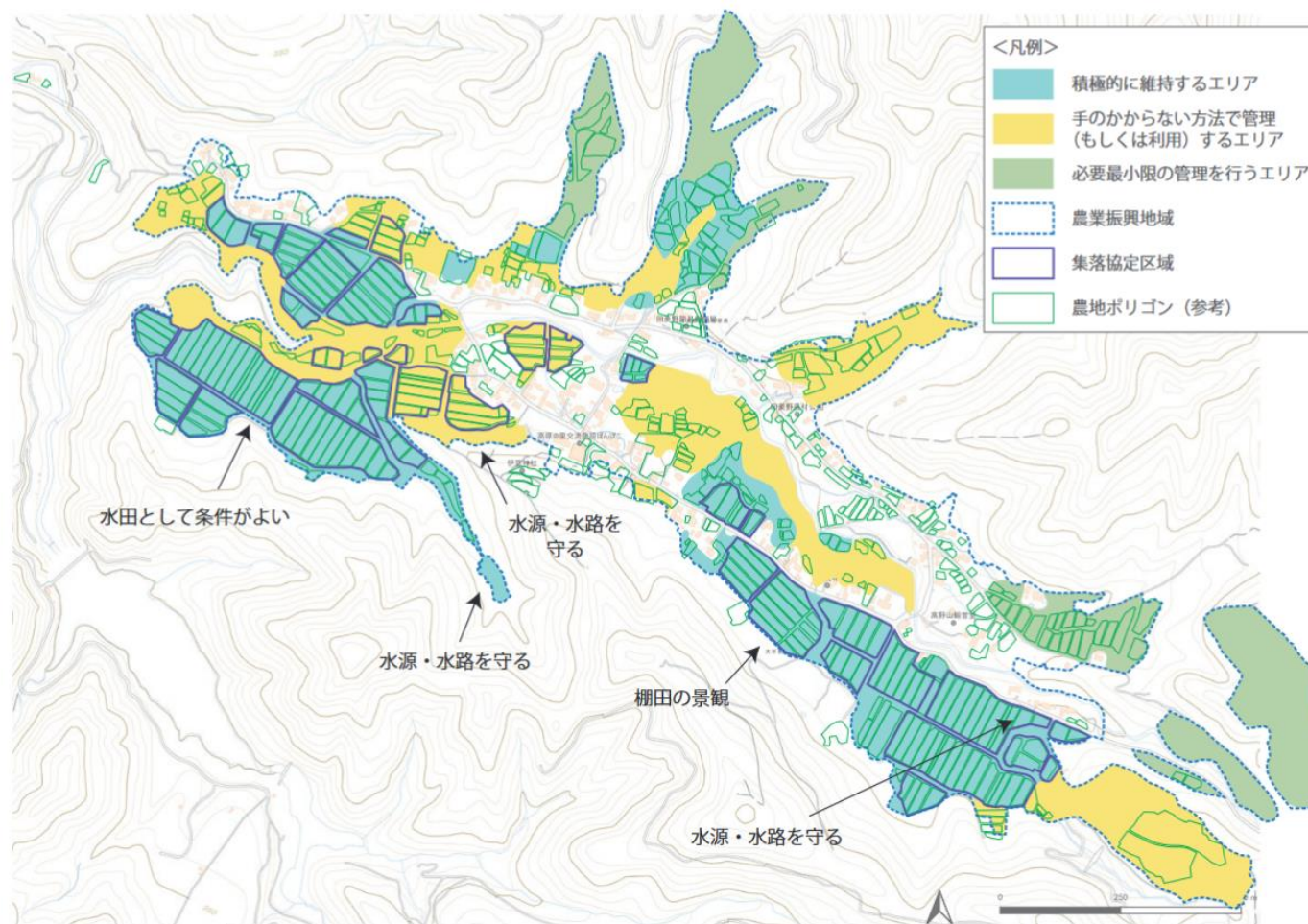
- 人口減少と少子高齢化の趨勢に抗い，積極的に地域づくりに取り組む。
 - 人口維持対策としての移住定住対策
 - 特産品の開発・販売や観光・グリーンツーリズム等のコミュニティビジネス
- 成果を上げられれば，地域は持続的に発展
- 先進的地域

③戦略的保全

- 守るべきところは守り，引くべきところは引く，戦略的対応。
 - 住民・行政で地域の現状と課題を共有，住宅・宅地や農林地の荒廃、農林漁業・地場産業の衰退等を最小限にとどめる。
- 土地の荒廃を避けながら，長期的に地域を維持。
- 戦略を練れる人、活動に協力する人が残っていれば可能。行政・民間のサポートは不可欠。

管理構想の実際

地域管理構想図（天童市田麦野地区）



「積極的に維持するエリア（青）」「手のかからない方法で管理するエリア（黄）」を守るために、担い手の確保（人選）、新たな作物や共同管理の検討、地域ルール作成など、耕作地を維持する観点から今後の管理方法を検討します。

その内容をもとに地域の方々及び関係者に協力を呼びかけます。

地域管理構想図

—農地・森林—

(宝塚市西谷地域中部地区)

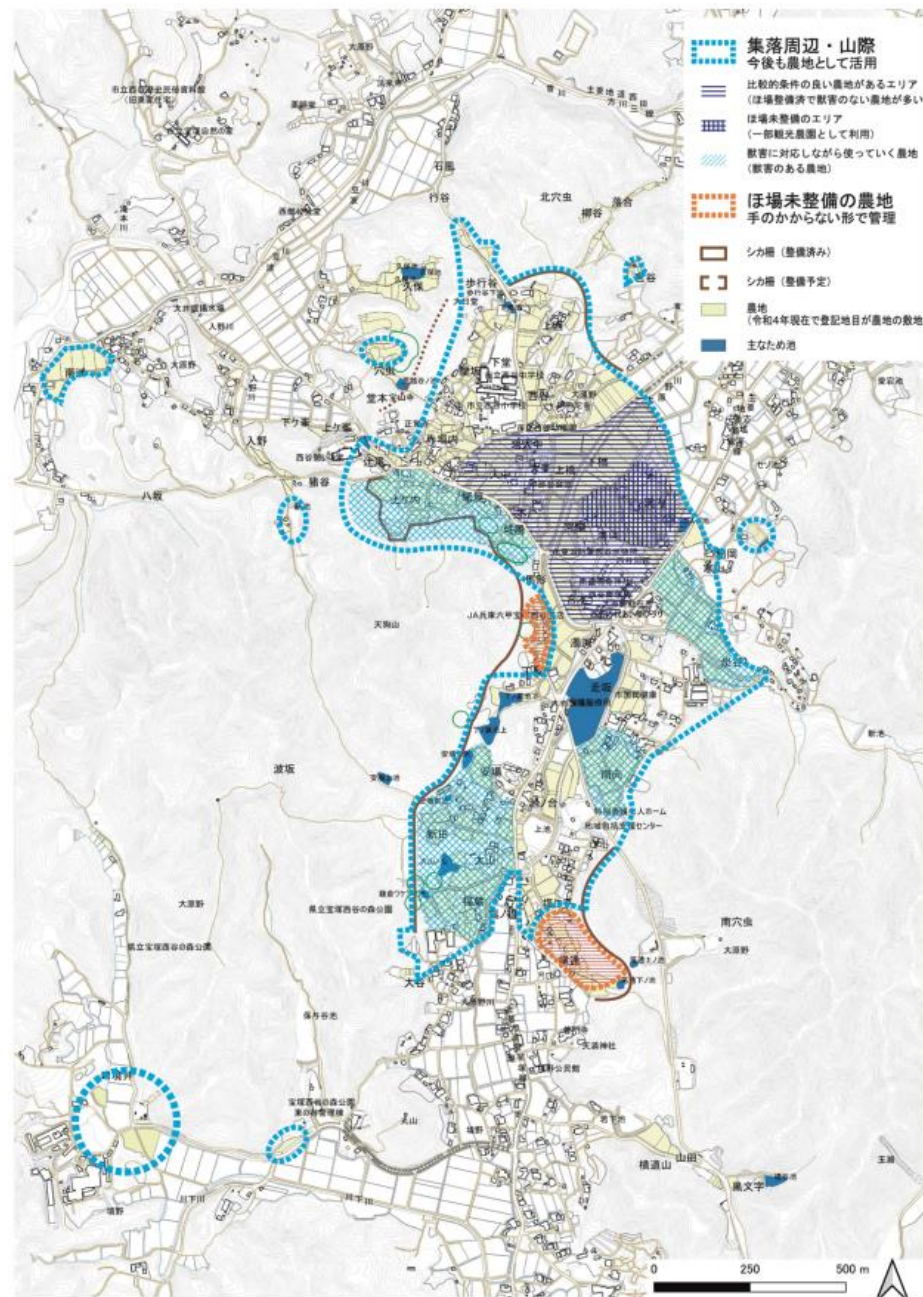
ア 集落周辺・山際（青色）

- 今後も農地として活用していく。
- 特に条件のいいほ場整備済で獣害のないエリア（一部ほ場未整備のエリアを含む）は、優先的に農地としての利用を続ける。

イ ほ場未整備の農地（オレンジ色）

- 続けられるところは農地として利用を続けるが、将来的に担い手や獣害の状況などで利用できなくなる農地が出た場合は、粗放的利用・管理を行う。

- ◆ 農地利用を継続していくために、耕作者がいない農地の引き受け手としての集落営農を検討していく



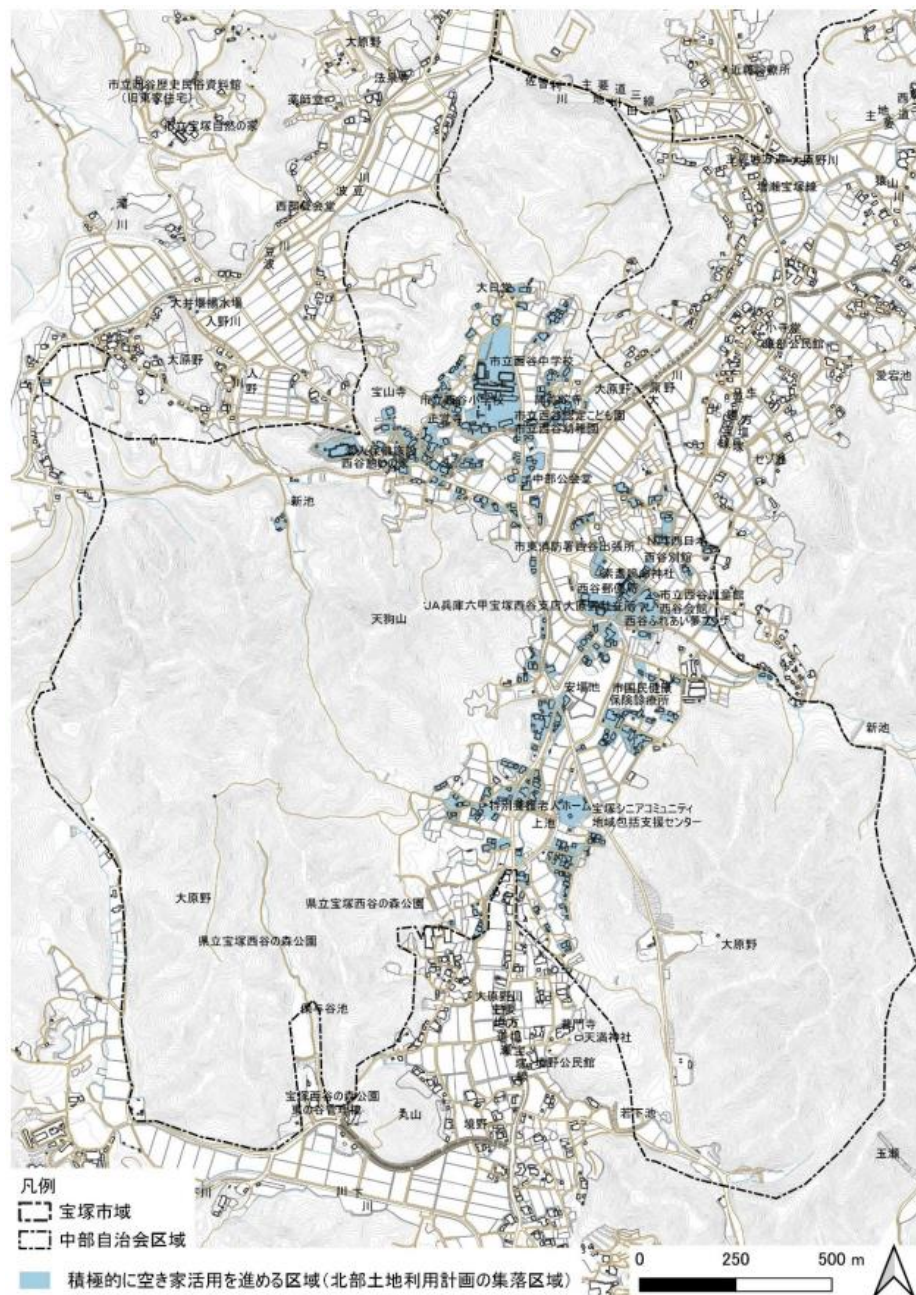
地域管理構想図

—住宅・空き家—

宝塚市西谷地域中部地区

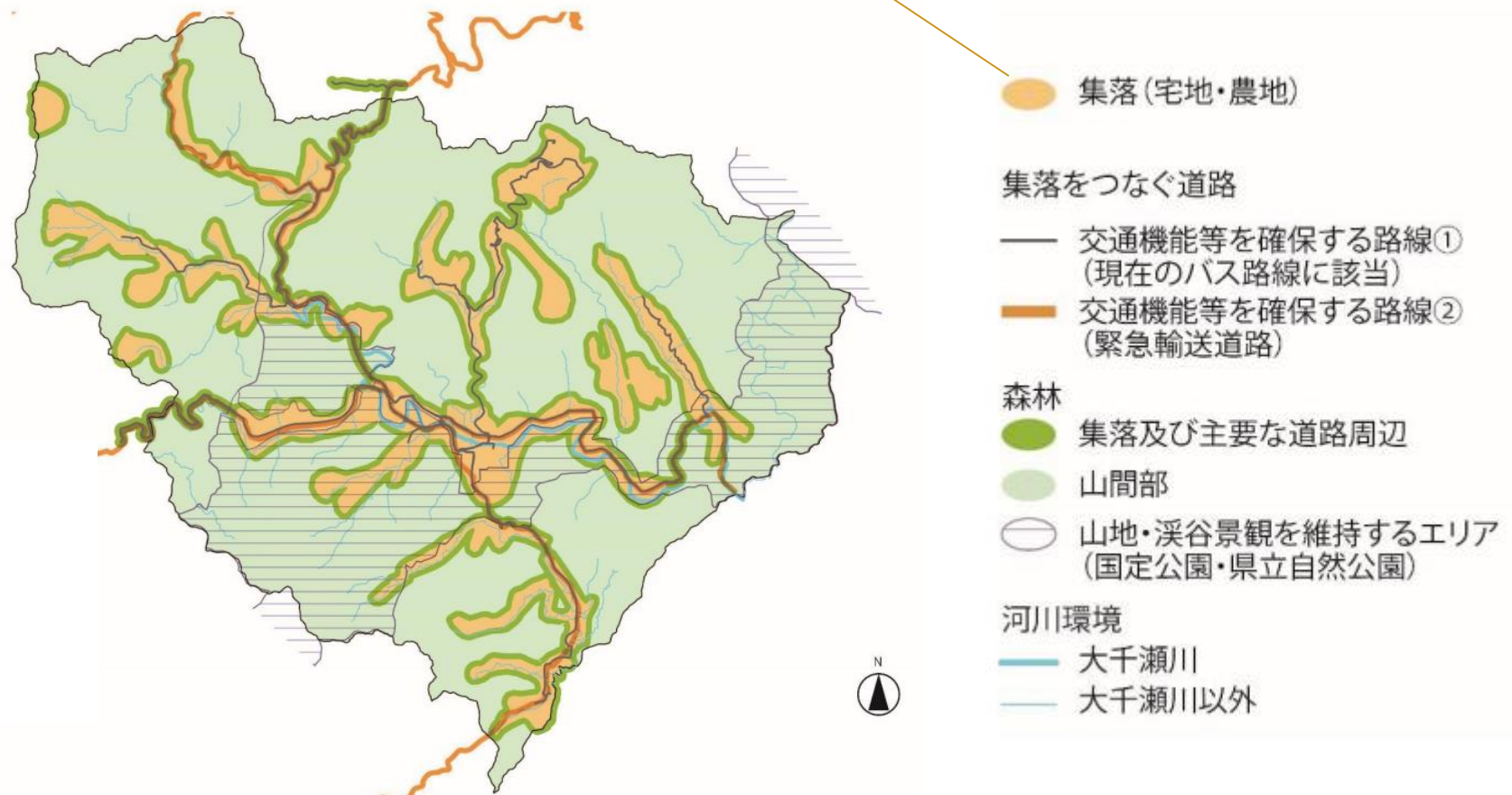
青色＝積極的に空き家活用を進める区域

1. 所有者との情報共有のための仕組みづくり
2. 相談窓口の設置
3. 住宅等の仲介の仕組み
4. 住宅の管理に関する情報提供や所有者以外による管理



市町村管理構想図（愛知県東栄町）

地域の管理能力やコミュニティの力を高め、東栄らしさを映し出す集落環境や伝統文化等の維持・保全を進める



市町村管理構想図（福岡県うきは市）

管理構想図

山間部

○集落

- ・地域活動やコミュニティの維持（過疎化が進む中で地域の運営、棚田保全の体制・資金の確保）
- ・居住地として選ばれる安全で安心して暮らせる生活環境の形成

○農用地・農振白地

- ・棚田の維持・保全

平野～山麓部

○既存市街地・集落

- ・定住人口の確保
- ・地域活動やコミュニティの維持（空洞化が懸念される中で地域運営のあり方）
- ・居住地として選ばれる安全で安心して暮らせる生活環境の形成

○既存市街地・集落の周辺部

- ・地域活動やコミュニティの維持（新規住民との新しい地域運営）
- ・人口減少に対応した市街地・集落基盤の再構築

○農用地・農振白地

- ・農業基盤の維持

森林

- ・森林、自然環境に配慮した取組

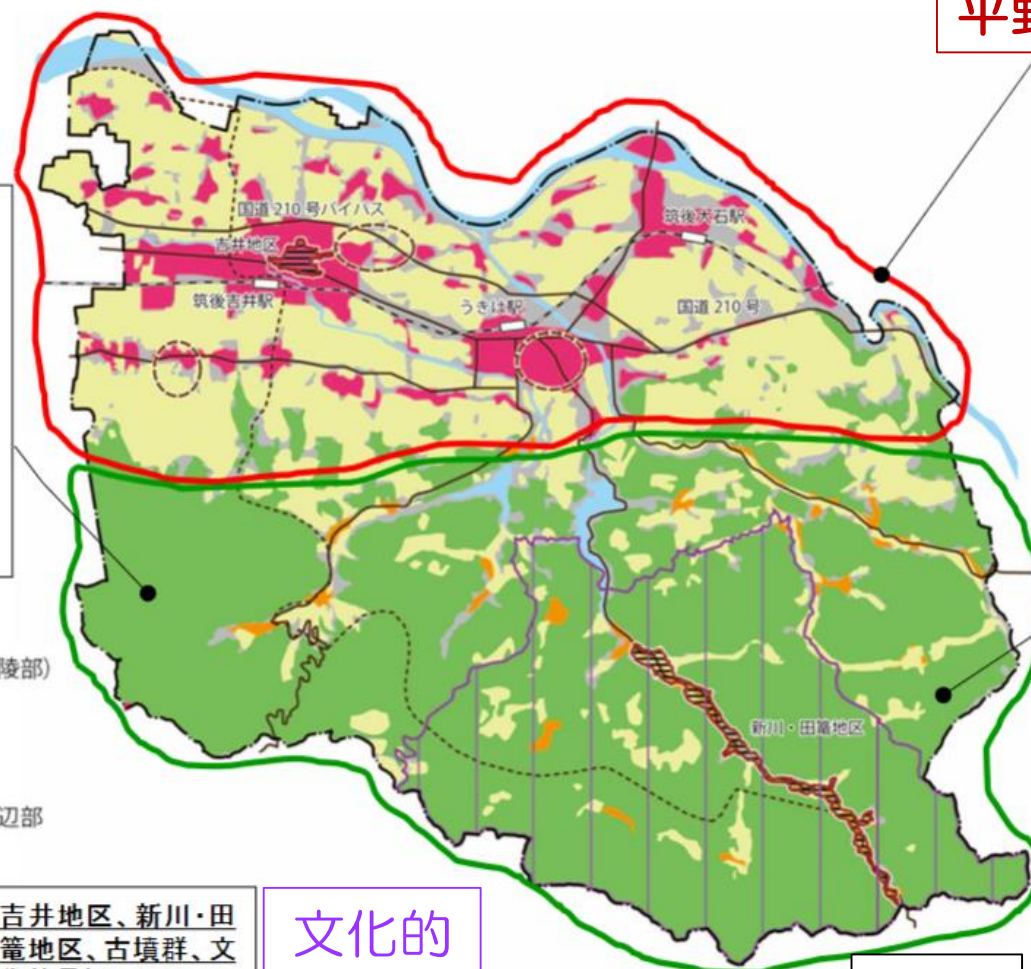
- 主な河川・水面
- 鉄道
- 主要道路（国道・県道等）
- 主要道路（基幹林道）
- うきは市行政区域

文化的 景観

吉井地区、新川・田籠地区、古墳群、文化的景観
・歴史文化資源の活用と保全

全域

- ・再生可能エネルギー施設等の適地への立地促進



共通するポイント

1. 区域区分・地域区分は、地域・市町村によっていろいろ
2. 構想策定時点での施策の立案
 - 対策保留（検討継続）も多々あり
3. 農林地対策のほかに、住宅・空き家対策、地域づくり対策も
4. 地域の将来に関わるステークホルダーを広く招集
 - 地域管理構想では、外部者も
 - 市町村管理構想では、庁内関係課すべて
5. 関連計画との連携を重視
 - 国土利用計画、都市計画、農振計画、人・農地プラン（地域計画）など
6. 関係者で地域の現状と課題を共有し、今後の連携体制を築けることが一番のメリット

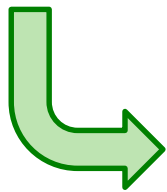
おわりに

よい地域とは？

- **腹がくくれている地域**

- ないものねだりしない
- あるものを生かす

- 人口減少と地域の衰退は待ったなし

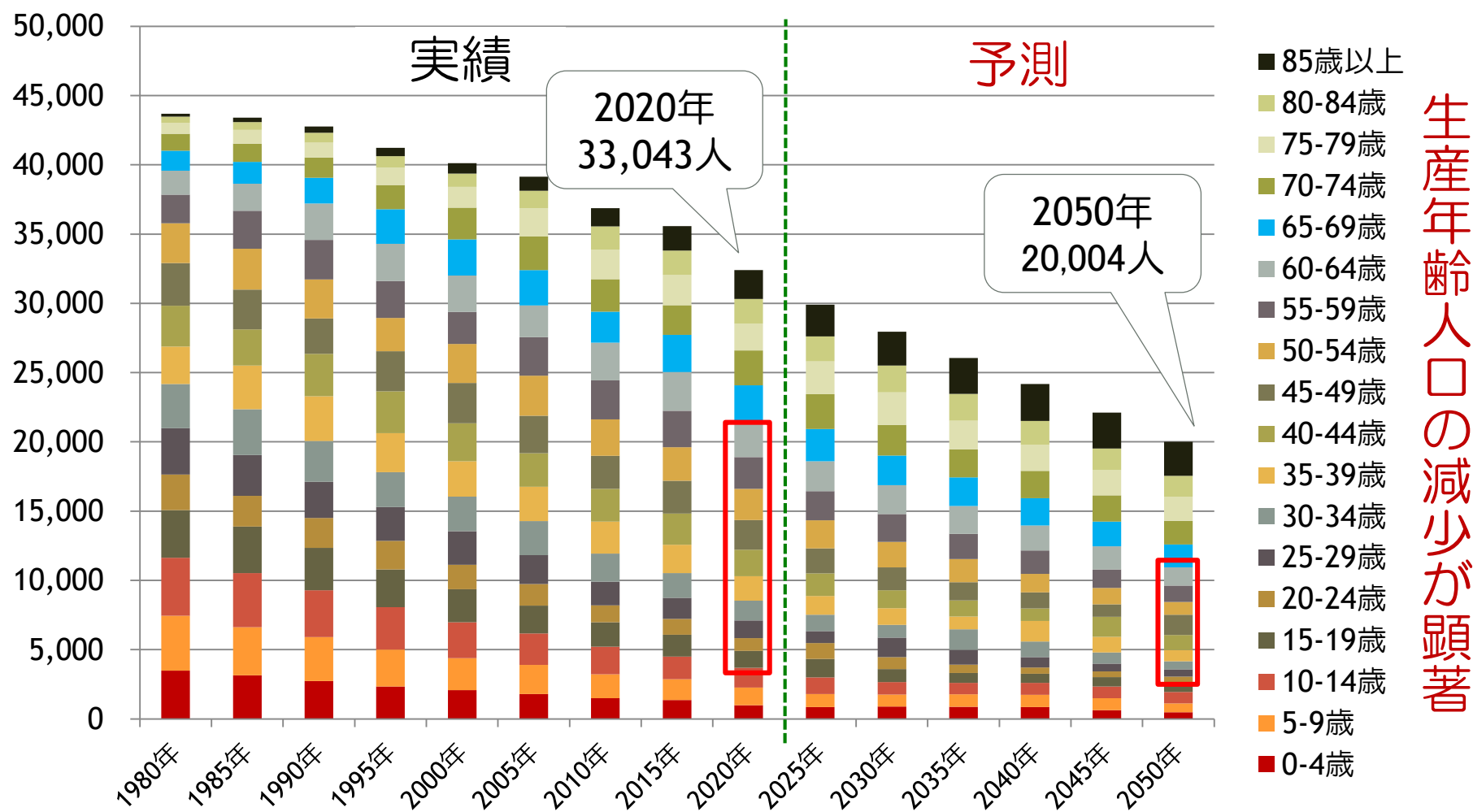


変わらない人、変われない人に
付き合う余裕はもはやない

参考：人口減少の様相

岩手県久慈市を例に
(31,387人：2024年9月末)

久慈市の将来人口予測 (広田)



2020年までは各年次の国勢調査、2025年以降は広田予

人口減少の原因

① 高卒世代の大量流出

年齢層	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
0-4歳	3,477	3,145	2,731	2,333	2,068	1,804	1,493	1,364	993
5-9歳	3,976	3,477	3,177	2,673	2,319	2,090	1,726	1,494	1,279
10-14歳	4,184	3,902	3,374	2,584	2,271	1,992	1,647	1,425	
15-19歳	3,432	3,366	3,071	2,716	2,020	1,760	1,578	1,215	
20-24歳	2,571	2,214	2,154	2,078	1,771	1,550	1,221	1,138	925
25-29歳	3,350	2,936	2,423	2,422	2,081	1,719	1,513	1,264	
30-34歳	3,179	3,322	2,525	2,499	2,460	2,023	1,796	1,434	
35-39歳	2,714	3,151	2,815	2,542	2,478	2,316	2,050	1,757	
40-44歳	2,951	2,597	3,063	3,033	2,748	2,436	2,353	2,246	1,916

久慈市：各年次の国勢調査

人口減少の原因

② 20～30代のUターン不足

年齢層	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
0-4歳	3,477	3,145	2,731	2,333	2,068	1,804	1,402	1,264	002
5-9歳	3,976	3,477	3,177	2,673	2,319	2,000	1,700	1,500	1,200
10-14歳	4,184	3,902	3,374	3,064	2,584	2,200	1,900	1,600	1,300
15-19歳	3,432	3,366	3,071	2,716	2,388	2,000	1,700	1,400	1,100
20-24歳	2,571	2,214	2,154	2,078	1,771	1,550	1,221	1,000	925
25-29歳	3,350	2,938	2,602	2,423	118% 2,081	1,719	1,513	1,264	
30-34歳	3,179	3,322	2,951	2,525	2,499	97% 2,023	1,796	1,434	
35-39歳	2,714	3,151	3,231	2,815	2,542	2,478	102% 2,050	1,757	
40-44歳	2,951	2,597	3,063	3,033	2,748	2,436	2,353	2,246	1,916

110～120%ぐらい
あるのが普通

結果として子育て世代の大幅減少

年齢層	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
0-4歳	3,477	3,145	2,731	2,333	2,068	1,804	1,493	1,364	993
5-9歳	3,976	3,477	3,177	2,673	2,319	2,090	1,726	1,494	1,279
10-14歳	4,184	3,902	3,374	3,064	2,584	2,271	1,992	1,647	1,425
15-19歳	3,432	3,366	3,071	2,716	2,388	2,020	1,760	1,578	1,215
20-24歳	2,571	2,214	2,154	2,078	1,771	1,550	1,221	1,138	925
25-29歳	3,350	2,933	2,602	2,423	2,422	2,081	1,719	1,513	1,264
30-34歳	3,179	3,322	2,951	2,525	2,499	2,460	2,023	1,796	1,434
35-39歳	2,714	3,151	2,931	2,815	2,542	2,478	2,316	2,050	1,757
40-44歳	2,951	2,951	3,063	3,033	2,748	2,436	2,353	2,246	1,916

59%

人口減少の原因

③さらに出生率も激減

非婚化・晩婚化

年齢層	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
0-4歳	3,477	3,145	2,731	2,333	2,068	1,804	1,493	1,364	993
5-9歳	3,976	3,477	3,177	2,673	2,319	2,090	1,726	1,494	1,279
10-14歳	4,184	3,902	3,374	3,064	2,584	2,271	1,992	1,647	1,425
15-19歳	3,432	3,366	2,071	2,716	2,388	2,020	1,760	1,578	1,215
20-24歳	2,571	2,214	1,100	1,078	1,771	1,550	1,221	1,138	925
25-29歳	3,350	2,938	2,602	2,423	2,422	2,081	1,719	1,513	1,264
30-34歳	3,179	3,322	2,951	2,525	2,499	2,460	2,023	1,796	1,434
35-39歳	2,714	3,151	3,231	2,815	2,542	2,478	2,316	2,050	1,757
40-44歳	2,951	2,597	3,063	3,033	2,748	2,436	2,353	2,246	1,916

久慈市：各年次の国勢調査

結果として子供（出生数）が激減

年齢層	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
0-4歳	3,477	3,145	2,731	2,333	2,068	1,804	1,493	1,364	993
5-9歳	3,976	3,477	3,177	2,673	29%	2,090	1,726	1,494	1,279
10-14歳	4,184	3,902	3,374	3,064	2,584	2,271	1,992	1,647	1,425
15-19歳	3,432	3,366	2,971	2,716	2,388	2,020	1,760	1,578	1,215
20-24歳	2,571	2,214	128%	2,078	1,771	1,550	1,221	1,138	925
25-29歳	3,350	2,938	2,602	2,423	2,422	2,081	1,719	1,513	1,264
30-34歳	3,179	3,322	2,951	2,525	2,499	2,460	2,023	1,796	1,434
35-39歳	2,714	3,151	3,231	2,815	2,542	2,478	2,316	2,050	1,757
40-44歳	2,951	2,597	3,063	3,033	2,748	2,436	2,353	2,246	1,916

このまま行くと30年後には…

年齢層	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
0-4歳	993	865	896	882	859	634	488
5-9歳	1,279	931	865	45%	882	859	635
10-14歳	1,425	1,199	889	826	855	842	820
15-19歳	1,215	1,336	950	704	654	678	667
20-24歳	925	1,139	59%	614	455	423	438
25-29歳	1,264	867	1,412	1,071	761	564	524
30-34歳	1,372	1,201	906	1,475	1,119	795	589
35-39歳	1,425	1,201	918	1,495	1,133	806	806
40-44歳	1,916	1,648	1,304	61%	891	1,449	1,099
総人口	33,043	29,913	27,944	26,049	24,172	22,108	20,004

いっそうの少子高齢化
と人口減少

近未来（＝全世代人口減）

年齢層	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	
0-4歳	1,364	993	865	896	882	859	634	488	少子化継続 小学校統合 中学校統合 高校統合
5-9歳	1,494	1,279	931	865	896	882	859	635	
10-14歳	1,647	1,425	1,199	889	826	855	842	820	
15-19歳	1,578	1,215	1,336	950	704	654	678	667	
20-24歳	1,138	925	1,139	864	614	455	423	438	労働力半減 購買力減少
25-29歳	1,513	1,264	867	1,412	1,071	761	564	524	
30-34歳	1,796	1,434	1,185	906	1,475	1,119	795	589	
35-39歳	2,050	1,757	1,345	1,201	918	1,495	1,133	806	
40-44歳	2,246	1,916	1,648	1,304	1,165	891	1,449	1,099	
45-49歳	2,364	2,153	1,797	1,655	1,310	1,170	895	1,456	
50-54歳	2,433	2,245	2,019	1,830	1,686	1,335	1,192	912	地域の 担い手減少
55-59歳	2,617	2,301	2,105	2,011	1,823	1,680	1,330	1,188	
60-64歳	2,809	2,487	2,158	2,089	1,996	1,810	1,668	1,320	
65-69歳	2,675	2,697	2,332	2,133	2,066	1,973	1,789	1,648	
70-74歳	2,142	2,504	2,529	2,226	2,036	1,972	1,884	1,708	超高齢化進行
75-79歳	2,187	1,938	2,348	2,349	2,067	1,891	1,831	1,749	
80-84歳	1,760	1,778	1,817	1,933	1,933	1,702	1,556	1,507	
85歳以上	1,763	2,089	2,293	2,431	2,581	2,670	2,585	2,449	
合 計	35,642	33,043	29,913	27,944	26,049	24,172	22,108	20,004	

以前からわかっていたこと!?

年齢層	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
0-4歳	3,477	3,145	2,731	2,333	2,068	1,804	1,493	1,364	993
5-9歳	3,976	3,477	3,177	2,673	2,319	2,090	1,726	1,494	1,279
10-14歳	4,184	3,902	3,374	3,064	2,584	2,271	1,992	1,647	1,425
15-19歳	3,432	3,366	3,071	2,716	2,388	2,020	1,760	1,578	1,215
20-24歳	2,571	2,214	2,154	2,078	1,771	1,550	1,221	1,138	925
25-29歳	3,350	2,938	2,602	2,423	2,422	2,081	1,719	1,513	1,264
30-34歳	3,179	3,322	2,951	2,525	2,499	2,460	2,023	1,796	1,434
35-39歳	2,714	2,151	3,231	2,815	2,542	2,478	2,316	2,050	1,757
40-44歳	2,951	2,597	3,063	3,033	2,748	2,436	2,353	2,246	1,916
45-49歳			2,564	2,175	2,919	2,692	2,388	2,364	2,153
50-54歳			2,810	2,114	2,811	2,897	2,627	2,433	2,245
55-59歳					2,303	2,778	2,830	2,617	2,301
60-64歳	1,727	1,955			2,628	2,294	2,706	2,809	2,487
65-69歳	1,454	1,575			2,613	2,558	2,214	2,675	2,697
70-74歳	1,218	1,321	1,451	1,739	2,288	2,414	2,142	2,142	2,504
75-79歳				272	1,509			1,187	1,938
80-84歳				823	958			1,760	1,778
85歳以上				597	754	1,007	1,515	1,763	2,089
合計	43,683	43,402	42,758	41,225	40,178	39,141	36,872	35,642	33,043

少子化・
若者の減少

出産世代の
減少

対策、後手後手に

生産年齢人口
の減少

何をすべきか？

少子化・若者の減少
のストップ
＝移住定住対策

年齢層	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	
0-4歳	1,364	993	865	896	882	859	634	488	少子化継続 小学校統合 中学校統合 高校統合
5-9歳	1,494	1,279	931	865	896	882	859	635	
10-14歳	1,647	1,425	1,199	889	826	855	842	820	
15-19歳	1,578	1,215	1,336	950	704	654	678	667	
20-24歳	1,138	925	1,139	864	614	455	423	438	労働力半減 購買力減少
25-29歳	1,513	1,264	867	1,412	1,071	761	564	524	
30-34歳	1,796	1,434	1,185	906	1,175	1,110	705	589	
35-39歳	2,050	1,757	1,345	1,201	1,475	1,410	705	806	
40-44歳	2,246	1,916	1,648	1,304	1,475	1,410	705	1,099	人口が減っても暮らせる地域の形成 ＝社会経済システムの構造改革
45-49歳	2,364	2,153	1,797	1,655	1,475	1,410	705	1,456	
50-54歳	2,433	2,245	2,019	1,830	1,475	1,410	705	1,456	
55-59歳	2,617	2,301	2,105	2,011	1,475	1,410	705	1,188	
60-64歳	2,809	2,487	2,158	2,089	1,996	1,810	1,668	1,320	地域の担い手減少
65-69歳	2,675	2,697	2,332	2,133	2,066	1,973	1,789	1,648	
70-74歳	2,142	2,504	2,529	2,226	2,036	1,972	1,884	1,708	
75-79歳	2,187	1,938	2,348	2,349	2,067	1,891	1,831	1,749	
80-84歳	1,760	1,778	1,817	1,933	1,933	1,702	1,556	1,507	超高齢化進行
85歳以上	1,763	2,089	2,293	2,431	2,581	2,670	2,585	2,449	
合計	35,642	33,043	29,913	27,944	26,049	24,172	22,108	20,004	

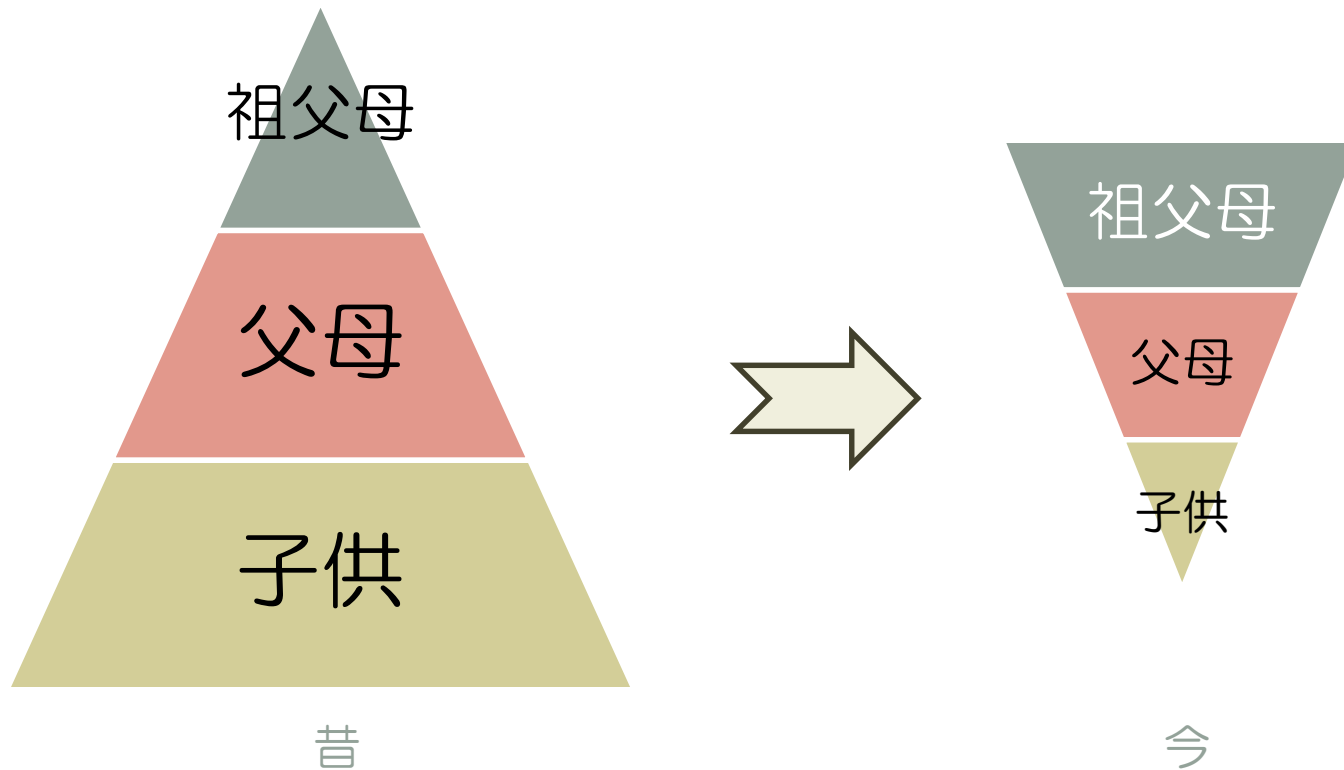
地域・行政システムは改革必須

年齢層	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
0-4歳	3,477	3,145	2,731	2,333	2,068	1,804	1,493	1,364	993
5-9歳	3,976	3,477	3,177	2,673	2,319	2,090	1,726	1,494	1,279
10-14歳	4,184	3,902	3,374	2,921	2,560	2,319	1,921	1,647	1,425
15-19歳	3,432	3,366	3,071	2,815	2,542	2,478	2,316	1,578	1,215
20-24歳	2,571	2,214	2,154	2,033	2,748	2,436	2,353	1,138	925
25-29歳	3,350	2,938	2,602	2,875	2,919	2,692	2,353	1,513	1,264
30-34歳	3,179	3,322	2,951	2,523	2,177	2,100	2,023	1,796	1,434
35-39歳	2,714	3,151	3,231	2,815	2,542	2,478	2,316	2,059	1,757
40-44歳	2,951	2,597	3,063	3,033	2,748	2,436	2,353	2,246	1,916
45-49歳	3,077	2,888	2,564	2,875	2,919	2,692	2,353	2,364	2,153
50-54歳	2,871	2,941	2,810	2,414	2,811	2,897	2,271	2,433	2,245
55-59歳	2,065	2,737	2,857	2,671	2,671	2,671	2,617	2,617	2,301
60-64歳	1,727	1,955	2,627	2,674	2,674	2,674	2,809	2,809	2,487
65-69歳	1,454	1,575	1,865	2,499	2,499	2,499	2,675	2,675	2,697
70-74歳	1,218	1,321	1,451	1,739	1,739	1,739	2,142	2,142	2,504
75-79歳	786	997	1,083	1,272	1,272	1,272	2,187	2,187	1,938
80-84歳	446	557	712	821	821	821	1,760	1,760	1,778
85歳以上	205	319	435	597	754	1,007	1,315	1,763	2,089
合計	43,683	43,402	42,758	41,225	40,178	39,141	36,872	35,642	33,043

現在の組織や活動の
多くは1990年以前
(昭和)に成立

現在の人口構成と
大きく異なる
(子供と若者が激
減、高齢者が激増)

地域の人口構成の昔と今



組織と活動が昔のままでいいはずがない